

(概要版)

健康を考え実践する力を育てる健康教育

—保健学習と保健指導を関連付けた習得・活用型授業モデルの開発を通して—

長期研修員 石島 保

研究の背景

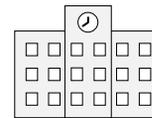
健康教育で育てるべき力とは？

時代を超えて変わらない健康課題や日々生起する健康課題に対応するための健康の価値を認識し、自ら課題を見付け、知識・技能を理解し、主体的に考え、判断し、行動し、よりよく課題を解決する力
(H9保健体育審議会答申より)

健康を考え実践する力

健康教育はどのように行うの？

学校の教育活動全体を通じて適切に行います。



体育科の時間はもとより、家庭科、特別活動などにおいてもそれぞれの特質に応じて適切に行うよう努めることとする。

(H20学習指導要領より)



系統的・計画的にできないかな？

それぞれの教科、領域が単発的に行われているなあ…

もっと効果的な方法はないかな？

そこで

習得・活用型授業モデルを提案します

保健学習を軸にすることで、系統的・計画的になるね！

ポイント1

保健学習・保健指導・事後指導を「**三つの学習場面**」とし、子どもの活動をつなげる

効果的に、知識・技能を習得し、それらを活用する力を付けられるね！

ポイント2

三つの学習場面を貫く「**学習課題**」を設定し、子どもの意識をつなげる



ポイント3

「導入」「題材」「振り返りの視点」で学習課題の意識化・具体化・実践化をはかり、子どもの学びをつなげる

体育と特活を関連付ければ、発達の段階に即した知識・技能を日常生活の実践に結び付けられるね！



学
習
課
題

保健学習 (習得の場面)

☆ 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得

- 健康を考え実践する力と学習課題を基に、習得させるべき知識・技能を明確にします
- 資料を工夫することで、身近な生活と結び付けます
- グループディスカッション等の話し合い活動をしたり、自分の考えを書いたり、説明したりすることで、知識・技能を確実に習得します

保健指導 (活用の場面)

☆ 知識・技能の活用による思考力・判断力の育成

- 題材について、習得した知識・技能を基に、その原因や解決方法を個人や集団で考えたり、表現したりすることで思考力・判断力を育みます

導入

- **学習課題を意識化**
身近な体験などから、学習課題を意識させ、児童の思考の流れにつなげます

題材

- **学習課題の具体化**
児童の日常生活で起こっていること、起こりうることを題材として設定することで、興味や疑問をもち主体的に学習に取り組ませます

振り返りの視点

- **学習課題の実践化**
習得した知識・技能を基に、振り返りの視点を意識して過ごす期間を設定することで、学習課題を自らの生活と結び付けます

事後指導 (振り返りの場面)

☆ 健康の大切さを実感
☆ 習得した知識・技能を活用しようとする態度の育成

- 視点に基づいて振り返りを行うことで健康の大切さに気付かせます
- 工夫・改善策を考える事で、習得した知識・技能を活用しようとする態度を育成します

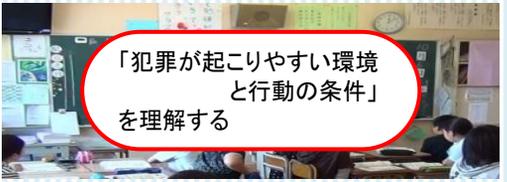
健康を考え実践する力

- 低学年**
健康の快さを感じ、健康により行動を続けることができる子
- 中学年**
健康の大切さを知り、健康と自分の行動を関係付けながら考え、健康により行動を実践できる子
- 高学年**
健康の大切さを理解し、健康的な生活を送るための条件を総合的に考え、自分にあった健康により行動を実践できる子

5年具体モデルによる実践

単元名「けがの防止」 第3時「犯罪被害の防止」

身近な統計資料を活用し、生活と結び付ける

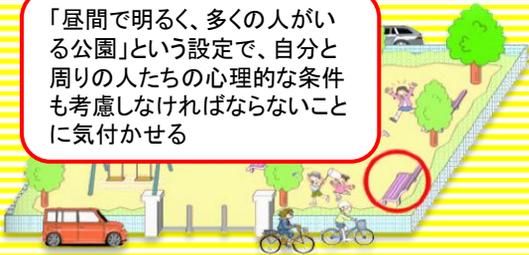


学級活動(2)力 安全指導

導入「ヒヤリハット体験を発表しよう！」

題材「公園で起きた事件の真相を説明しよう！」

「昼間で明るく、多くの人がいる公園」という設定で、自分と周りの人たちの心理的な条件も考慮しなければならないことに気付かせる



中学生の言うとおりにして、しらしにゲームをしたから、一人だったから。

①そのゲームをクリアしたから、しらしにゲームをしたから。

②仲良く遊んでいたから、気が付かなかった。

← 思考の深まり

Aは中学生はいい人に見え、周りからは二人が兄弟に見えた。

振り返りの視点
「危険がひそむところとその理由、工夫・改善できること」



周りをよく見ると危険もあるけれど、きれいな自然もいっぱいあった。これからのいろいろな意味で周りをよく見て過ごしたい。

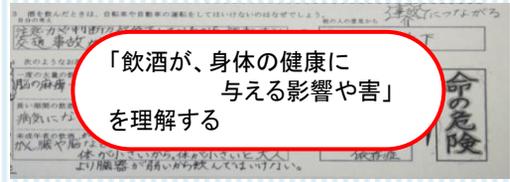
少し気を付けてみると、「入りやすくて見えにくい」危険な所は見つかることに気が付いたので、気を付けて過ごしたい。

危険を回避し、安全に行動できる能力

6年具体モデルによる実践

単元名「病気の予防」 第6時「飲酒の害と健康」

実物の写真を活用し、生活と結び付ける

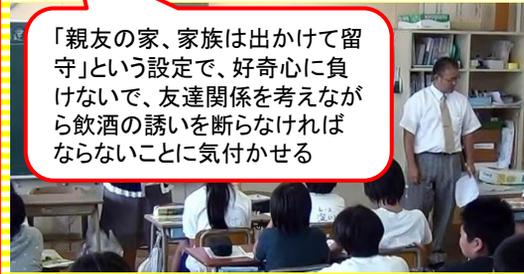


学級活動(2)力 保健指導

導入「不健康な生活ってどんな生活？」

題材「友達からお酒を飲もうと誘われたらどうする？」

「親友の家、家族は出かけて留守」という設定で、好奇心に負けないで、友達関係を考えながら飲酒の誘いを断らなければならないことに気付かせる



「お酒は未成年が飲んではいけないんだよ。飲酒は20歳になってからだよ。絶対に飲んじゃダメ。体に良くないし、しょうがでるんだよ。飲めばろくに飲まないけど、俺も飲んじゃダメだよ。」

← 思考の深まり

振り返りの視点
「選択した行動とその時の気持ち」

健康的なことをすると気持ちよくなった。清潔な気持ちだった。健康を意識して過ごしたら、気持ちよいことがいっぱいだった。

生活のリズムがぐずれ元気に登校できていなかった。早寝早起きを毎日して、生活のリズムを整えることを意識したい。

日常生活における健康の問題を自ら見付け、自分で判断し、処理できる能力

安全な生活を送ろう
危険がひそむところ

健康な生活を守る・創る

研究のまとめ

○習得の場面

身近な生活と結び付く資料を提示したり、グループで話し合わせて自分の考えを表現させたりしたことは、健康に関する基礎的・基本的な知識・技能の習得に有効だった。

○振り返りの場面

振り返りの視点を意識して過ごす期間を設定したことは、健康の大切さを実感し、習得した知識・技能を日常生活の中で活用しようとする態度の育成に有効だった。

○活用の場面

習得した共通の知識・技能を基盤として活用し、その原因や解決方法を個人や集団で考えたり、表現したりして話し合わせたことは、健康に関する思考力・判断力の育成に有効だった。

5年モデル 題材「公園で起きた事件の真相を解明しよう！」

児童の思考の流れ

Aにとって中学生は「知らない人」という犯罪が起こりやすい要因に当てはまっているのに…

補助発問1【どうして知らない中学生とゲームをしたのだろう】に対する解答

「ゲームをクリアしたかったから」

欲望

「中学生はいい人そうだったから」

見た目の印象

補助発問2【周りの人には二人はどう見えたのだろう】に対する解答

「仲良く遊んでいたので知り合い（友達、兄弟）に見えた」

「自分たちは遊びに夢中だったし、仲良くやっていたから気にならなかった」

無関心

危険の
わかりにくさ

Aはゲームをクリアしたかったし、中学生がいい人そうに見えたので、いっしょにゲームをしてしまった。また、周りの人はゲームをやっているAと中学生は仲良く遊んでいると思ったり、二人のことを気にしていなかったりしたため、事件が起きるような危険な状態だと気が付かなかった。

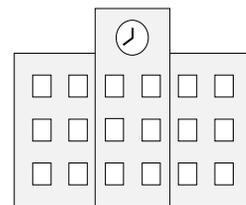


【成果】

- 三つの学習場面を設定した習得・活用型授業モデルとすることで、効果的に知識・技能を習得し、それらを活用することを通して健康を考え実践する力を付けることができた。
- 体系化された保健学習と日常生活での具体的な実践を重視する保健指導を組み合わせることで、発達段階に即した知識・技能を日常生活の実践に結び付けることができた。また、系統的、計画的な学習活動を繰り返し行える見直しをもつことができた。

【課題】

- 思考力・判断力を育成する授業モデルを系統的、計画的に繰り返し行うために、第3学年から第6学年までの具体モデルを完成させる必要がある。
- より効果的な学習活動にするために、具体モデルの実践と評価を蓄積し、さらに改善を図る必要がある。
- 具体モデルで培った資質・能力をさらに生かすために、家庭や地域との連携を図る必要がある。



問い合わせ先 群馬県総合教育センター

担当係: 研究企画係 0270-26-9212(直通)